

泉大津市教育施設再編計画（案）に対する
パブリックコメントの結果について

- ◇募集期間：令和4年12月6日（火）～令和5年1月5日（木）
- ◇募集方法：郵送、ファックス、電子メール、教育政策課へ持参、社会教育施設等に意見書募集箱を設置
- ◇提出人数：7人
- ◇意見提出件数：12件
- ◇意見概要及び市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>【小・中学校（地域交流ゾーン）、南・北公民館及び勤労青少年ホームの現状について】</p> <p>・「つながりからはじまる学びの環」の理念など、めざす姿、理想を言語化して掲げて、内容もとても素敵だと思います。</p> <p>個人的には、泉大津の公民館がどこにあるか、最近知りました。何かキッカケがないと、公民館の存在を知らない子どもも沢山いるとも思います。</p> <p>理念、設備が整っていても知られないことには始まらないので、子ども、または親御さんが子どもを自主的に連れて行きたくなるような施策があればいいのかなと思います。</p> <p>アンケートなどで学びたいことをくみ取るなど、利用者に寄り添うのが大事なのかなと思います。</p> <p>認知度の低さや、利用者が少ないのはアンケートの雰囲気欄にある「開放感もなく、全体的に暗い印象」</p> <p>この言葉に結構集約されていると思</p>	<p>・本計画（案）策定のために実施した市民アンケート及びワークショップ等を通じて、南・北公民館及び勤労青少年ホームのハード面の課題や運営等に係るソフト面についても様々なご意見をいただきました。</p> <p>それらを踏まえ、本計画（案）では、本市の新たな生涯学習環境を「未来の学びの場」と称し、その整備の方向性とめざす姿を設定いたしました。</p> <p>今回いただいたご意見も参考にさせていただきながら、市域全体をフィールドにした新たな生涯学習環境の形成を展開してまいります。</p>

	<p>います。</p> <p>ここを改善すればおのずと人は集まるのかなど。</p> <p>泉大津市は市民のためにこんなにも動いてくださってることに感謝です。</p> <p>【施設配置基本方針について】</p> <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップに参加させていただきました。現在の教育施設の南北公民館、勤労青少年センターの老朽化の課題と小中学校のコミュニティスクール化、学校地域協働活動の課題を合わせて解決できる計画だと思います。市民のコミュニティ形成は、市民のより幸福感を高めるためには必要なことだと思います。その場所が綺麗になること、利用しやすいものになることは、とても良いことだと思います。市民のニーズに沿った利用がしやすい運営を期待します。また、現状のニーズにとどまらず、より市民の自発的で主体的な活動が起こりやすく活性化するような多角的な取り組みにも期待します。 <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果で施設利用が少ないと書いてありました。これは、コロナ禍で利用したくてもできなかったのが理由です。私は、コーラス、太極拳などで利用しています。休むと「声が出ない」「体が動きにくい」などがあります。身近で行ける施設が欲しいです。遠くでは高 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画（案）P21に記載のとおり、教育施設の配置基本方針のうち、「未来の学びの場」の整備の方向性として、「市民ニーズを捉えた、安全・安心で魅力的な公共サービスの提供」を挙げており、より魅力的な生涯学習環境の形成に向けては、市民ニーズの高い設備・備品の導入や、誰もが使いやすい利用ルールの設定など、ハード・ソフトの両面で、公共サービスの充実を図ることが求められていると認識しており、施設そのもののみならず、運用面についても市民ニーズを取り入れながら検討してまいります。 ・市民アンケートによる生涯学習施設の利用経験については、同アンケート実施時（令和3年）から過去3年間を対象に実施しておりますので新型コロナウイルス感染症が拡大する前の利用経験を踏まえた結果となっております。なお、公共施設適正配置基本方針を定めるために平成25年に実施した市民アン
--	---	---

	<p>齢者は行く事ができません。生きがいです。どうかよろしくおねがいします。</p>	<p>ケートにおいても、南・北公民館及び勤労青少年ホームの利用経験については、今回のアンケートと同程度の割合となっております。</p> <p>教育施設再編にあたっての基本方針のうちめざす姿（コンセプト）といたしまして、本計画（案）P22に記載のとおり、現状の南・北公民館及び勤労青少年ホームを集約し、新たな生涯学習環境形成のための拠点施設として「出会いや発見のある交流拠点としての学びの場」に位置付ける「（仮称）生涯学習センター」を整備するものとし、各小・中学校へ「地域交流ゾーン」を整備することによる「身近な居場所としての複数の学びの場」を組み合わせ、泉大津市全域をフィールドにした「学びのキャンパス」の形成をめざしてまいります。</p>
4	<p>【南北公民館について】</p> <ul style="list-style-type: none"> もし（仮称）生涯学習センターの工事が遅れた場合にも、南北公民館のクラブが活動を途切れることなく継続できるように、生涯学習センターの完成まで南北公民館を閉鎖しない等の配慮をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本計画（案）P28に記載のとおり、生涯学習活動に取り組む市民の活動の場が継続できるよう、活動継続のための環境が整うまでの間は、順次整備される小・中学校の地域交流ゾーンの活用を推進し、既存の南・北公民館及び勤労青少年ホームについては、適切な維持管理や必要な修繕等を行ってまいります。
5	<p>【北公民館について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北公民館の跡地について隣のかみじょう認定こども園を拡充してほしい。大型車で送り迎えに来る人もいたり、時間がなく慌てている保護者も見受けられるので、事故が起きないように、駐車場は大型車でも余裕をもって止 	<ul style="list-style-type: none"> 跡地の利活用につきましては、全体最適の視点で全庁的に検討を行い決定してまいります。

<p>6</p>	<p>められる広さにしたり、一方通行で出られるような仕組みにして、安全に送り迎えできるような駐車場にしてほしい。</p> <p>・北公民館は統合でなく便利な場所にあるので、適正配置基本計画通りに第二期の 2022～26 年に大規模改修工事をお願いします。</p> <p>公民館利用が特定者に限定されているとの見解ですが、過去に、北公民館新規利用のお願いに行きましたが、揃える書類の多いのに驚き、まるで貸したくないと思えるハードルの高さでした。誰でも気軽に利用できる身近な生涯学習のひろばとして、アンケートや聞き取りを生かした魅力ある公民館づくりを進めていただきたいです。そして一人でも多くの方が参加したくなるようにお願いします。認知度もあがり、多くの市民が参加できるような努力とアイデア、工夫がいると考えます。よろしくをお願いします。</p>	<p>・本計画（案）策定のために実施した南・北公民館及び勤労青少年ホームの利用状況調査や市民アンケート調査により、一部の市民の利用に留まっていることが改めて明らかとなるとともに、ワークショップ等において、現在の南・北公民館及び勤労青少年ホームに対して、建物が古く現在の新たな市民ニーズへの対応が不十分、設備の老朽化に伴う不便さ、不十分なバリアフリーの不安など、各施設に対する様々な問題点、課題について意見がありました。</p> <p>それらを踏まえ、今よりも幅広い多くの市民が利用でき、多様なニーズに対応した新たな生涯学習環境を形成するためには、本市の生涯学習環境を取り巻く課題等に対応するとともに、老朽化した南・北公民館及び勤労青少年ホームに代わる、未来を見据えた施設整備が必要であると考えています。</p> <p>そして、その施設を中心として、身近な活動・交流の場としての機能を有した地域交流ゾーンと連携を図りながら、市域全体をフィールドにした新たな生涯学習環境の形成を展開してまいります。</p> <p>また、上記課題等に加え、グループインタビューやワークショップにおいて、「新たに利用する際にハードルを感じる」などの課題や意見が示されましたことから、</p>
----------	---	---

		<p>本計画（案）P21に記載のとおり、「未来の学びの場」の整備の方向性として、「より多くの、より多様な市民が利用しやすい環境整備」を設定し、市民の利用しやすさ・分かりやすさに配慮した管理運営に取り組むとともに、すべての市民にとってより身近で、日常的に利用したくなる生涯学習環境を整備することが求められていると認識しております。</p>
7	<p>【(仮称)生涯学習センターについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)生涯学習センターが子ども達（主に小学生）の集まる場にしてほしい。市民の半数ほどしか知らない南北公民館が、古池公園の近くに移転することで、市民の認知度が上がるので、この場所に移転するのは賛成です。生涯学習センターを子ども達にとって、小さな頃から気軽に集まれる場にするので、さらに、生涯学習センターの認知度が上がり、市民にクラブの活動内容等も知らせることができると思います。そのために、子ども達が、生涯学習センターに集まる仕掛けを作って欲しいです。和歌山県有田川町の図書館のように大量の積み木を置いたり、雑誌やゲーム、勉強等ができるスペース、中学生以下は無料で使える卓球台等を置いて、雨でも、子ども達が気軽に遊んだり、学んだりできるスペースを作って、子ども達が集まる場にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画（案）資料編で示しているとおり、今回実施した市民アンケートにおいて、社会教育施設の認知度や利用状況及び利用経験に関する割合が10代・20代で最も低い結果となっていることから、今よりも幅広い多くの市民の利用をめざすにあたっては、若年層に対するアプローチは重要であると考えております。 <p>また、同じく、本計画（案）策定のために実施したワークショップでは、ハード面の課題に関する意見のみではなく、運営等に係るソフト面についても様々なご意見をいただくとともに、多くの市民ニーズが顕在化しました。</p> <p>それらを踏まえ、今よりも幅広い多くの市民が利用でき、多様なニーズに対応した新たな生涯学習環境を形成するためには、本市の生涯学習環境を取り巻く課題等に対応するとともに、老朽化した南・北公民館及び勤労青少年ホームに代わる、未来を見据えた施設整備が必要であると考えています。</p> <p>そして、その施設を中心として、身近な活動・交流の場としての機能を有した地</p>

	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)生涯学習センターの利用方法について、普段使わない人も利用しやすくするため、阪南市の尾崎公民館のように、空き状況やクラブの内容をネットでわかるようにしてほしい。 クラブをする一部の人のための施設にならないようにしてほしい。クラブが優先して部屋を押さえたり、利用料が安くなるのであれば、クラブの要件として、社会貢献をすることや、定員を設けないような規定をつくって、クラブが優遇されていることを泉大津市民のみんなが納得でき誰でもクラブに入れるようにしてほしい。 <p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2章第1部(P10～19)の「施設の認知度」「老朽化の問題」という点において、施設をコンパクト化することには賛成である。 しかしながら、P23『「未来の学びの場」の施設整備のあり方』として市民の活動の継続を謳っているなかで、発表の場がないのが現状。 コミュニティ・スクールの取り組みが拡大するにつれて、ダンス・合唱・吹奏楽などは学生・市民合同での活動が増えると予想されるなか、以前の市民会館のような施設で「大きな発表の 	<p>域交流ゾーンと連携を図りながら、市域全体をフィールドにした新たな生涯学習環境の形成を展開してまいります。</p> <p>今回いただいたご意見につきましては、参考にさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画(案)策定のために実施した南・北公民館及び勤労青少年ホームの利用状況調査や市民アンケート調査により、一部の市民の利用に留まっていることが改めて明らかとなるとともに、グループインタビューやワークショップにおいて、「新たに利用する際にハードルを感じる」などの課題や意見が示されましたことから、市民の利用しやすさ・わかりやすさに配慮した管理運営に取り組むとともに、すべての市民にとってより身近で、日常的に利用したくなる生涯学習環境を整備することが求められていると認識しております。 ・本計画(案)P23において、「未来の学びの場」の施設整備のあり方として記載しているとおり、施設整備に係る計画や設計にあたっては、各生涯学習等の活動に取り組む団体をはじめとした市民の幅広い意見を取り込むことが重要であると考えております。 整備する施設の計画・設計段階においても、ワークショップ等を継続的に実施し、市民の意見を取り入れながら、諸室規模・構成・設備を検討してまいりたいと考えております。
--	---	--

10	<p>場」を持たせることによって、今後泉大津の発展を担っていく学生たちが生涯学習に触れる良い機会になると考えます。</p> <p>ただ活動して満足するだけではなく、学生たちが何か得るためにも、中学生・小学生が収容できるような会館・ホール建設の検討を願います。</p> <p>・文化活動を発表する場所（ホール）がないことは変わらず非常に残念に思います。</p> <p>音楽・ダンス・演劇等々の舞台芸術を、きちんと反響設計された音楽ホールで、学生はじめ市民が堂々と表現する。市民による素晴らしい芸術祭が数日に渡って開催されるような市にしたいと願っています。</p>	<p>・同上</p>
11	<p>【地域交流ゾーンについて】</p> <p>・登下校の見守り等、特に小学校は、地域の方に支えられて運営していると思います。小学校を地域交流の核にして、地域の力を強めることは、小学校の運営にも重要なことと考えます。そのために、地域交流ゾーンを整備して、地域の方が気軽に集まれる場にしてほしいと思います。また、地域交流ゾーンの運営は、学校と地域のボランティアの方がすると思いますが、校区毎に地域の方や学校の強みや課題は違うので、他の校区のやり方をそのまま取り入れるのではなく、それぞれの校区に合わせた運営をしてほしいと思います。立ち上げの時は、地域の方</p>	<p>・コミュニティ・スクール等の仕組みをはじめとする、学校と地域の連携・協働による「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を展開し、よりよい学校教育を通じて、めざすこども像として掲げている『泉大津市の豊かな歴史と伝統を大切にしながら「子どもたちのアイデンティティの確立とともに地域への愛着が持てるようになること』、また、その子どもが大人になった時に「自分自身が受けた泉大津市の教育を自分の子どもにも受けさせたい」と思える教育課程や教育環境の確立という目標を達成するための一つの手段として、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える仕</p>

<p>12</p>	<p>も学校の方も大変だとは思いますが、うまく回り始めたら、地域交流ゾーンは、子ども達や地域の方の楽しい居場所になり、学校や保護者にとっても学校運営の負担が減り、学校が安心して子ども達の過ごせる場所になることに寄与すると考えますので、各学校に地域交流ゾーンを整備してほしいと思います。</p> <p>・学校に地域交流ゾーンを整備する、とても賛成です。</p> <p>学校内、特にクラブ活動等に地域の経験者やサポートできる市民の存在があることにより、生徒のみならず大人側にも世代間交流を通じた学びがあると思います。その様な循環が継続されていくことで文化の活性化や発展、継続に繋がると思います。</p> <p>交流ゾーンが設置され共用開始となった時に、その運営方法が気になります。現状、学校と連携や関りを持って活動している一般の文化団体や市民は非常に少ないと感じています。交流ゾーンが設置されても現在のように「自分たちだけで」活動をしているのでは、活動の拠点が変わっただけになってしまう。地域交流ゾーンの目的や意識を市民・学生にも理解してもらう機会や工夫が必要かと思います。</p> <p>私が中学生の頃の古い話になりますが、部活 OB や市吹奏楽団の団員が部室に度々顔を出しては一緒に練習したりコツを教えてくれたりと、色々と</p>	<p>組みづくりを具現化できる施設を目指した「地域交流ゾーン」をすべての小・中学校に整備することを教育委員会の方針として掲げ、令和 4 年度以降に行う小・中学校の校舎棟長寿命化・建替に併せて整備していくことを明記しています。</p> <p>・地域交流ゾーンについては、P7 で記載のとおり、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を展開し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える仕組みづくりを具現化できる施設を目指して整備するものでありますので、今回いただいたご意見も参考にさせていただきながら、単なる活動場所に留めない運用方法を検討していきたいと考えております。</p>
-----------	---	---

	<p>面倒を見てくれました。そんな環境が卒業後にも吹奏楽を続ける一つのきっかけとなりました。当時は学校への訪問も割と気軽にできたのかと思います。</p> <p>現在は団として中学校吹奏楽部に訪問させていただく機会を作っていますが、個人として気軽に訪問することはセキュリティの問題もあり少し躊躇する気持ちがあります。地域交流ゾーンが出来ることで同じ様に感じている市民が学校との距離を縮められたらと思います。</p>	
--	--	--